



学校教育目標「心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成」 校訓「自主・勤労・敬愛」
スローガン「努力夢現」～努力を続け、夢や目標を実現・達成できる学校～

ネット被害から子どもたちを守るために

10月27日（木）に本校理科室でファミリープログラムが開催されました。講師には、市生涯学習課とファシリテーター3名を迎えて、「子育て・メディアとのつきあい方」のテーマで講話や班別協議と進みました。最初はやや硬かった雰囲気もアイスブレイクによって和やかになり、和気あいあいと時間が流れました。いただいた資料から、長崎市内中学生でSNS等の1日3時間以上の長時間使用者が37%（特に男子）と多く、ネット依存による生活の乱れがみられる結果となりました（令和2年2月調査）。

会合には、保護者27名・教職員11名と多数が参加されました。活動を終えての感想や気づき等を紹介いたします。お忙しい中に参加された保護者の皆様ありがとうございました。

Aさん 日頃から携帯電話の使い方について子どもにどう伝えたらよいか自問自答していたので、他の方の考え方などを聞きたい機会となり、参考になりました。子どもたちにも様々な機会でのこのような講話をしていただけたらと思います。

Bさん 子どもたちが主に使っているアプリケーションの各々の危険な特性についてを知りたかった。例えば、インスタグラムはどうやって知らない人とつながっていくのか。ストーリーのしくみ。犯罪者がどうやって誘ってくるか。裏アカウントなど・・・。

Cさん メディアについて、子どもより私のほうが知らないことが多過ぎるので、もう少し勉強が必要かと思いました。日頃から子どもとの会話やリビングで一緒に過ごす時間を大切にしていこうと思います。

Dさん メディアに触れる機会は、大人も子どもも多くなっていますが、思春期の子どもへの理解を促すことは大変だと思います。このように、グループで話す機会があり、日頃を振り返ったり、アイデアを共有することができました。

★長崎市 PTA 連合会からの提言

「メディアルールの徹底」 ネット・電子メディア利用は、夜9時まで！



※学校だよりは、ホームページでもご覧になれます。

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/kogakura-j/>

